



特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 会報

第12号 2014.3.20

環境カウンセラー 藤本倫子様より、篤志！

私たちに期待される更なる活動の飛躍！

環境カウンセラーとして、生ごみの削減を中心に、全国で環境教育を行っておられる藤本倫子先生より、当協会の活動の更なる飛躍を願い、50万円という多額のご寄付をいただきました。

当協会では、この資金を子どもたちへの環境活動の支援など有効に使わせていただきたいと思います。藤本先生、ありがとうございました。

以下は、会員の皆様へ藤本先生からのお手紙です。



私達は、この自然の営みによって生かされていることを、真剣に受け止め、子々孫々、この自然を守っていかねばなりません。自然の偉大さを知り、その自然に感謝をしていかなければ私たちの未来は、ありません。その自然を、守っていくのは、私達自身です。

今こそ、私達大人が、子供たちに、その事をしっかりと伝え教えることが、大切だと思います。

わたたくしも、今、生かしていただけていることに、感謝をし、少しでも、この世に恩返しをしたいと思ひ、また、お役にたてればとの想いで、僅かですが、ここに、みなさんの活動資金の一助として寄付をさせていただきます。

わたたくしも、今や平寿を迎え身体の衰えを日々感ずるこの頃です。これからの、みなさんにこの素晴らしい地球環境を守っていただきたい、わたたくしも命あらん限り、お手伝いさせていただきます。いと考えております。

平成二十五年十二月吉日

環境カウンセラー 藤本倫子

【藤本倫子さんのプロフィール】

次代を担う子ども達に美しい地球環境を引き継ぐため、暮らしの中で取組める生ごみの減量化について独自の方法を考案し、全国の自治体や一般市民に対する普及活動を展開。また、全国の小・中学校、高校で環境についての特別事業を行い、環境を守ることの大切さを熱心に伝えてきた。私財を投じて藤本倫子環境保全活動助成基金を創設(※)し、環境活動に対する支援を行う。2010年に地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受ける。(環境省 HP より)

※ 藤本基金は、2002年に設置。以来、子ども達(小学生・中学生)が興味を持って自主的に取り組む、身の回りの自然の調査・観察や、地域の環境を良くしようとする活動、環境についての学習などに対して助成金を交付しています。(詳細は日環協 HP 参照)

活動報告

宇美八幡宮での「巨樹の保全からの環境学習会」

報告者 福岡支部 三苫 達久

福岡県粕屋郡宇美町にある日本一の「巨大なクスノキの森」がある宇美八幡宮において、巨樹の保全と環境を考える、掲題のような環境学習会を2回実施した。その概要を記す。

1 事業の目的

巨樹は、人と自然が一体化した独自の自然観を持つ日本人の「自然共生の智慧や伝統」の象徴として、「持続可能な社会」実現のためにも、保全され、環境教育の良い教材として活用されていかねばならないと考えている。

宇美八幡宮の大楠「湯蓋の森」は、暈10 暈ほどの樹洞があり、「トトロのおうち」である「塚森の大クス」にそっくりである。この樹洞を保全・整備し、この中で、「トトロのおうち」にいるという興奮の中で、巨樹・樹洞の保全を通して、「自然との共生」から「持続可能な社会」を理解してもらう環境学習会を行う。また、この巨樹が「トトロのおうち」として有名になる事により、屋久島の縄文杉のように大事に保全されていく事を目的とした。

2 協働事業としての実施

今回の2回の環境学習は、会場に宇美八幡宮のご協力をいただき、下記3団体協働の「巨樹・樹洞保全協会」として行ったが、福岡県の事業の中で行うなど、5団体もの協働事業となり、協働した団体それぞれの活動特徴を生かして事業は行われた。

- ・一般社団法人 福岡県樹木医会
- ・特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会
- ・特定非営利活動法人 環境みらい塾
- ・宇美八幡宮（会場協力）

【1回目】

期 日：平成25年8月17日 13:30～16:30

事業名：「こどもエコクラブ環境学習会」

参加者：福岡県内のこどもエコクラブ会員の小中学生と保護者の計65名

主 催：福岡県環境政策課

【2回目】

期 日：平成25年12月7日（土）13:00～16:00

事業名：平成25年度ふくおか地域貢献活動サポート事業助成事業
「トトロのおうち」体験・保全プロジェクト

参加者：宇美市及び他都市の小中学生と保護者の計115名

主 催：巨樹・樹洞保全協会



3 実施内容

両回とも、宇美八幡宮司伊藤佳和氏による「クスノキの森の物語」を聞いた後、班に分かれての自然観察体験ワークショップが始まりました。これは樹木の専門家である樹木医さんたちが、各班に付いてくれ、学習カードを配布し、境内の巨樹を巡りながら、樹木から考える生態系の話をしてくれました。

いよいよ、樹洞の探検です。日本で一番「トトロのおうち」にそっくりなクスノキの「中」に入ります。そこは地面より下で 10 畳くらいの広さです。暗闇の中で、矢野先生の草笛を聞きました。最後は、みんなで自分たちの学んだことを発表し合いました。一回目は、矢野先生による草笛教室もありました。

子ども達は、樹洞に入り、「いい匂いがした」、「大きいのにびっくりした」、「計算したら千年以上の年齢で、感激した」などなど

暗闇の中で、神秘的な音色で草笛を吹いてくれた矢野先生に、「いつから、この中に住んでいるのですか？」との質問があったとのこと。（*^_^*）二回目は、樹木医さんの一人が尺八も吹いてくれました。



4 まとめ

グループワークの発表等を見ると、子供たちには、巨樹への感動や、樹洞への好奇心などを通して、当初の狙いである「私たち人間は、酸素も食べ物も作り出すことはできない、すべて生態系サービス(自然の恩恵)に頼っている」ことを少しは理解してもらえたのではないかと考えています。

今回の学習を通して、環境学習の教材として巨樹の可能性は高いと思います。宇美八幡宮という、格好のフィールドを利用して、巨樹からの環境教育が今後充実してくことを期待します。



「環境フェスティバルふくおか」でのパネルシアター上演

報告者 福岡支部 吉田順子

期 日：平成 25 年 10 月 19 日～20 日

場 所：福岡市役所西側ふれあい広場

福岡市で毎年 10 月に行われる環境啓発イベント「環境フェスティバルふくおか」に出展し、NPO 法人「環境みらい塾」と協働して、パネルシアターを上演しました。

- テーマは、①「46 億年地球の歴史」
 ②「水の循環・ごみ」
 ③「ハチドリの一としずく」です。





「子どもくるくる村」から派遣された子ども達に
劇場係、ナレーター、パネル係等の仕事をまかせました。
みんな生き生きと、熱心にこなしてくれました。

北九州市“エコライフステージ2013”での活動

報告者 北九州支部長 角谷 忠彦

期 日：平成 25 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）

場 所：北九州市役所前広場

北九州エコライフステージは市民の環境活動の実践・発表の場として、2002 年から毎年開催されており、ふくおか環境カウンセラー協会も例年参加し、地球温暖化防止対策に関する地域に密着した普及・啓発活動を実施している。

本年は小倉北区の勝山公園で開催され、当協会は「ふくおか省エネ・節電県民運動」をメインテーマに温暖化防止活動推進員・北九州京築地域連絡会と共催で「パネル展示」、「温暖化防止クイズ」及び「行動意識のアンケート」等を実施した。

天候にも恵まれ、ブースへの来場者は2日間で1,040人と多く、対応に追われ大変だったが、目的である温暖化防止の普及・啓発活動は達成したと思われる。



今後は展示パネル及び関連クイズ等の修正等を実施し、普及の効果を高めて行きたい。

環境授業「これからのエネルギーを考えよう」

期 日：平成 26 年 1 月 24 日

場 所：みやま市立南小学校

平成 26 年 1 月に、福岡県 LP ガス協会協力の出前授業で、吉田環境カウンセラーが、みやま市立南小学校の 5、6 年生に環境授業を行いました。

テーマは、「エネルギーの大切さと環境への関わり」です。

パネルシアターを使いながら、子どもたちに環境問題への気づきを促しました。
最後に「ハチドリの一とせずく」の話をし、
次のような言葉で締めくくりました。

「自分ができることをやるっていうのは簡単なことのようにだけ、実はとっても勇気のいることですよね。でも、もう待たないです。みんなではじめましょう」

子どもたちは、吉田カウンセラーの話に、最初からぐいぐい引き込まれ、自分の暮らしと結びつけながら、より関心を深めていったということです。

（平成26年2月16日付朝日新聞引用）



研修会等の活動

環境省主催九州ブロック平成25年度環境カウンセラー研修

期 日：平成25年11月29日

場 所：九州地方環境事務所（会場：くまもと森都心プラザ）

環境省主催の平成25年度九州ブロック「平成25年度環境カウンセラー研修」が、11月に熊本市で行われました。九州各県から約60名の環境カウンセラーが集まり、今後の環境活動について学習と意見交換をしました。



午前中は、基調講演として、当ふくおか環境カウンセラー協会の依田浩敏理事長による演題「環境カウンセラーに求められるESDの概念」の講演があり、ESDの視点に立った学習指導や今後の環境カウンセラーとしての活動などについて、実例を交えながら、わかりやすく話されました。

午後からは、「環境教育」、「生物多様性」、「再生可能エネルギー」、「資源循環」の4分科会に分かれて、事例発表や情報交換などが行われ、森本美鈴環境カウンセラーも、第一分科会のファシリテーターとして、参加しました。

第一分科会では、鹿児島県の浜本奈鼓さんの事例報告を軸として意見交換をしました。企業からの発言が多く、活発に行われている参加各社の社会貢献活動の様子が伺われ、市民を巻き込んだ更なる活動の躍進について、現状や悩み、解決方法等、有意義な討議が行われました。



第10回九州環境市民フォーラム in 福岡・新宮

期 日：平成26年2月22日～23日

場 所：新宮市そびあしんぐう及びシーオーレ新宮

新宮市で行われた九州環境市民フォーラムに、ふくおか環境カウンセラー協会からも参加しました。

このフォーラムは、九州各地で活躍する環境市民団体・NPO、企業、行政が一同に会し、環境を語り合い、学び合い、また活動発表の場ともなっており、九州各県の回り持ちで行われています。

今回は、初日に九州大学朝廣和夫准教授の基調講演の他、エコウォーキング、二日目に「身近な自然のセンス・オブ・ワンダー」や「解決！地球温暖化ってなあに？」など7つの分科会に分かれて、九州各県からの環境NPOや学生たち約80名の環境活動者の熱心な学習・討議が行われました。



表 彰

近藤哲司さん おめでとうございます！

平成 25 年度福岡県環境保全功労者知事表彰受賞 ！

近藤哲司カウンセラーは、平成14年度から19年度まで「いづか環境市民会議」の環境教育部会長を努め、平成20年度から24年度まで「いづか環境会議」の会長として同会議の運営に尽力されました。

また、飯塚市主催の「環境教育推進大会」では、事例発表を行う参加型の運営方法へと改めたり、「環境賞」（表彰制度）を創設したりするなど、企画・運営面から貢献されていることなどを評価されました。



事務局だより

久しぶりに会報を発行することができました。

会員各位、ならびに日頃から協会の活動を支援していただいています皆様には、情報発信が不足しておりますこととお詫び申し上げます。今回の会報では、最近の活動を多く取り上げています。

平成25年8月より、協会は『福岡県環境県民会議』のメンバーになっています。今後は、より多くの団体と情報交換しながら、協働して環境問題に取り組んでいきたいと思いをします。

協会の活動をより積極的に行っていきますとともに、会報・ホームページ等で紹介していきたいと思いをしますので、今後ともご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

理事長 依田 浩敏
編集担当 森本 美鈴

◆◆平成 26 年度ふくおか環境カウンセラー総会と学習会のお知らせ

日 時：平成26年5月31日(土) 13:30~15:00(学習会)、15:00~16:00(総会)

場 所：北九州市環境ミュージアム0

学習会：環境教育教材「パネルシアターで楽しい環境教室」(仮題)

講 師：ふくおか環境カウンセラー協会 吉田順子氏

◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000 円 振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

◆準会員 並びに 賛助会員 募 集

準会員：会費（1口2千円） 賛助会員：会費（1口1万円） 学会会員：会費なし

発行責任者： 依田 浩敏 （編集責任者： 森本美鈴）

連絡先：〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉2-3-36

TEL/FAX:092-672-9911 メールアドレス：feca.office@gmail.com